

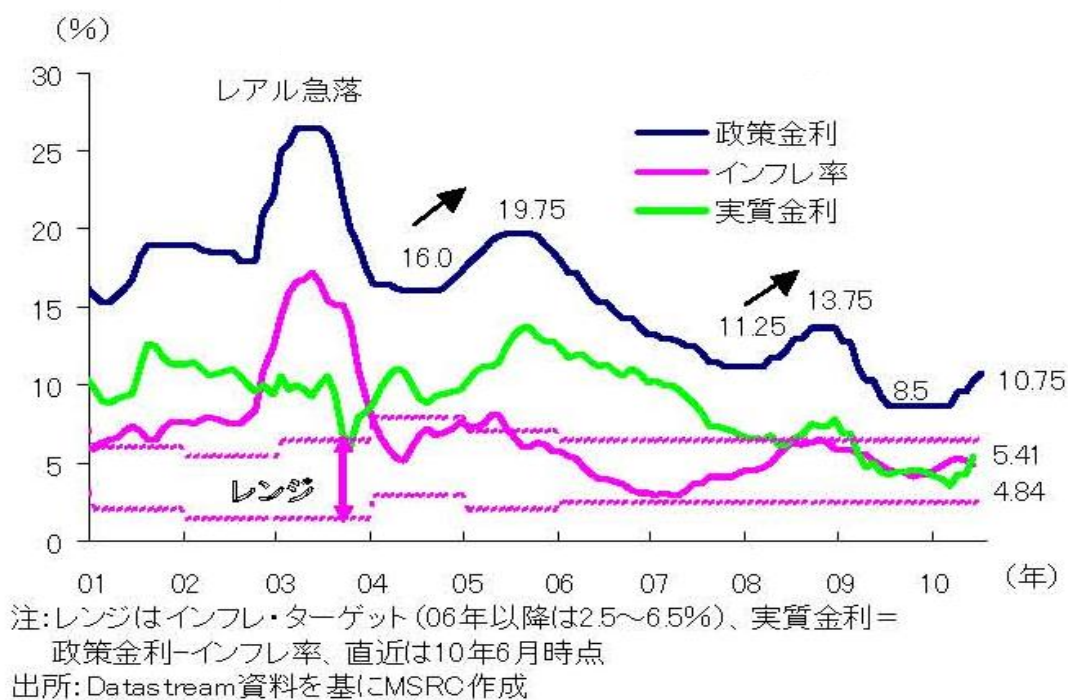
2010年上期の回顧と下期展望 業種別部会長シンポジウム

ブラジル日本商工会議所
食品部会
2010年8月17日(火)

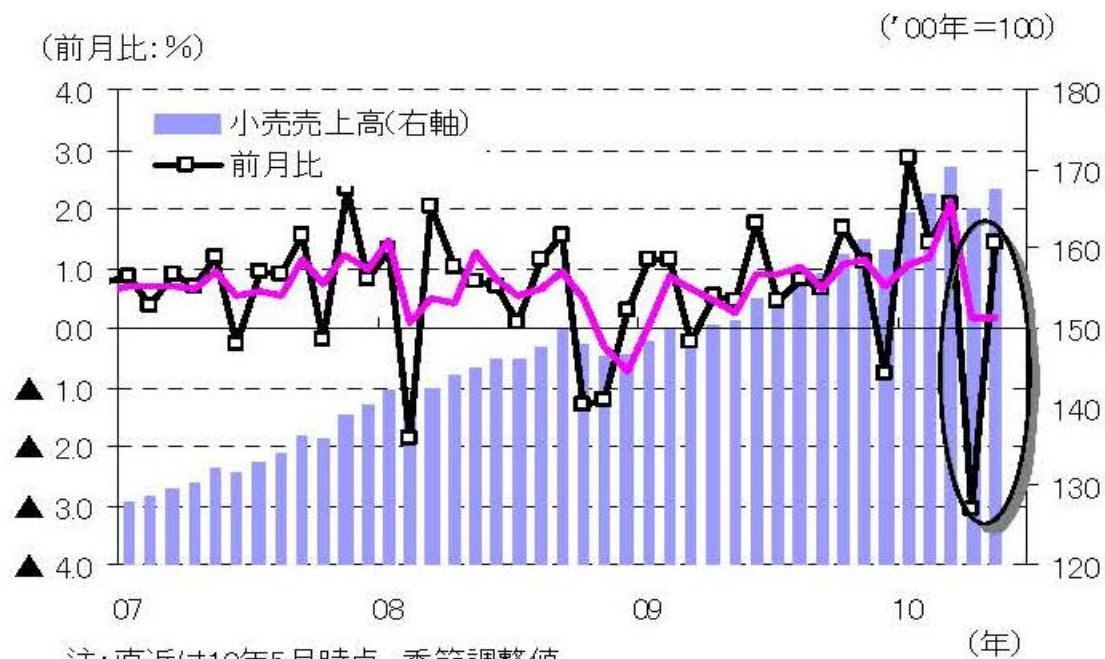
為替動向



金利とインフレ推移



小売売上高推移



注:直近は10年5月時点、季節調整値
出所:DatastreamデータをもとにCMSRC作成

商品相場(NY国際相場)

	コーヒー(アラビカ) US\$/lb	砂糖 ¢/lb
2009年3月	110-115	12-14
6月	117-130	14-16
9月	124-130	21-23
12月	141-145	24-26
2010年3月	130-135	24-26
6月	133-167	14-16

国内消費動向

1. 上半期

前年度後半から続いている需要の堅調な成長が上半期においても継続した。

要因としては

- ① 各社新製品の導入
- ② 中低所得者層の購買力の上昇（特に、北東部）
- ③ Wカップ特需（特に清涼飲料・酒類）

2. 下半期

金利の引き上げによる引き締め基調によって成長のスピードダウンは考えられるものの、大筋としては現在の成長が継続するものと思われる。

北東部及び中西部は高成長を維持（低価格品中心）

包材価格の上昇が利益圧迫要因

輸出動向

1. 上半期

経済危機の影響を受け世界的に需要が落ち込んだ前年と比較して世界需要は回復基調にあり、一次産品(コーヒー、畜肉等)の輸出は復調してきた。

畜肉需要の回復を受けて飼料用添加物も順調に推移している。

2. 下半期

為替、天候等の外部環境の大きな変化が無い限り、現在の状況が継続するものと思われる。